

# 役に立つ葬儀の話 Vol.11



最近お客様からの質問で「法事・法要」のことを尋ねられることが多くあります。今回は知っているようで知らない「法事・法要」のお話をいたします。

「法事・法要」とは、遺族が故人を偲び冥福を祈るために行う「追善供養」のことを指します。一般的には総称して「法事」と呼ばれていますが、厳密にはお経をあげてもらった追善供養を「法要」と言い、追善供養の後席の会食まで含むものを「法事」と呼びます。

故人が亡くなった日から数えて七日目が「初七日法要」で、葬儀の後、最初に訪れる法要です。告別式の後、遺体は茶毘に付され遺骨となって家族のもとに帰ってきます。帰ってきた遺骨は後飾り祭壇に迎え初七日の法要を行います。初七日は、**故人への最初の裁きが行われ行く先が決まるとも重要な法要**です。ですから故人に対し冥福を祈り、追善供養を残された者たちで行います。



最近では参列者の時間的な負担や、親族・遺族の居住場所などを考慮して、葬儀の当日、告別式のお経の後に続けて初七日のお経を一緒にあげて頂くことが多くなっています。ただ「繰り上げ初七日」はあくまでも仮の法要です。法要を済ませた後

であっても、本来の初七日当日には家族や知人が集まり、故人の冥福を祈り焼香をするようにしましょう。葬儀の後の最初の法要である「初七日(しよなのか)」の後は、七日ごとに「二七日(ふたなのか)」「三七日(みなのか)」「七七日(ななのか)」つまり「四十九日(しじゅうくにち)」の法要を迎えることとなります。法要は**遺族や知人友人たちが故人の冥土(めいど)の幸福、「冥福」を祈り極楽浄土への旅立ちを願い行われるもの**です。

最近では簡略化されている法要ですが、こうした意味を持つことを知るとおろそかにはできません。宗旨宗派によって法要の仕方は異なりますが、いずれの宗旨宗派であっても故人を思う気持ちは同じです。心を込めて供養をし、手を合わせ故人の安らかな旅路を願いたいものです。

次回も法要について、四十九日法要のお話をいたします。

門田 謙介

## 葬儀の現場から ～愛情の形～



ドリーマーの担当者として、たくさんの葬儀に携わりたくさんのお別れのお手伝いをさせて頂いてつくづく思うことですが、ご遺族の故人様への愛情の形もそれぞれのご家族によって様々だなあと。

あるご葬儀でのことですが、故人様がずいぶんとお酒好きだったということで、お棺の中に好物のお酒を入れてあげようとお酒を2種類ご用意させて頂きました。一つはビン入りの物で、もう一つは紙パックの物です。

ご葬儀も無事終わりお別れの時がやってまいりました。ご用意しておいたビン入りのお酒はクリアカップに移し、櫛の葉でご親族様お一人お一人から故人様のお口へと注ぎ飲ませてあげることになりました。一通り終わったところで故人様の奥様が「あんなに好きだったお酒だからもっと飲ませてあげたい」とおっしゃられ、紙パックのお酒にストローを差して故人様のお口へ持っていかれました。それで終わると思っていたら紙パックを傾け、結構な勢いで故人様が顔中お酒を浴びるほどに飲ませたのです。さすがにご親族の中のお一人が「そんな無茶したらお父さん溺れてしまうよ」と、お酒を飲ませることを止められてしまいました。担当者として近くにいた私は冷や汗をかきながらこの場をどうやり過ごそうか焦っていたら、別のご親族様から「溺れる前に起き上がるかもしれんぞ、溺れたりもせんよ」との声、それを聞いて別の方が「そうか！だったら思う存分飲ませてあげてや」と、涙の中にも笑いがあり、何とも穏やかな雰囲気にもまれ奥様も満足されたようでした。

長い闘病生活を余儀なくされ大好きだったお酒も止められ、そして亡くなられた最愛のご主人に対して奥様の『よく今まで頑張ったね、これからは思いっきりお酒を楽しんでね』という思いが溢れていました。ご親戚の方もそんな奥様のお気持ちを察して一言助け舟を出されたのでしょうか、少々手荒にも見えたお別れ的一幕でしたが、奥様の精一杯のお気持ちを思うと目の奥に熱いものを感じました。

誰にも訪れる大切な家族とのお別れの時、笑いあり涙あり色々な形のお別れがあるのを見てきましたが、どの場面にも深い愛情を感じます。どのような場面においても後悔の無いお別れをして頂けるよう、私たちが精一杯お手伝いさせて頂こうと改めて心に刻みました。



伊藤寿浩

## ご好評につき「ドリーマーの花市 第2弾」開催決定!!

昨年12月16日に、ドリーマー吹揚葬祭館にて「ドリーマーの花市」が開催されました。とても盛況でたくさんのお客様にご来場頂き、皆様から「楽しかった」「お花が安くて綺麗」「来てよかった」「また花市してください」とありがたい声援を受け、スタッフ一同調子に乗ってしまい「ドリーマーの花市 第2弾 春だ！みんな出てこい花市だ！！」を開催することになりました。



お花の販売はもちろん、ラッピング、お花のアクセサリ作り教室、手作りお菓子販売、北条のパン屋「ピース」さんの焼き立てパンの販売、仏壇仏具・墓石の相談コーナー、楽しい終活セミナー…と盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしております。

日時：4月21日(土) 10:00~15:00  
 場所：ドリーマー吹揚葬祭館(今治市通町2丁目3-40)  
 お問い合わせはドリーマー吹揚葬祭館  
 電話番号：0898-33-7888 まで



ぜったい来てね♪



袖山敬子



今月ご紹介させて頂く今治の名店は、今治市高橋に店舗を構える、仕出し・お弁当の名店「一富士」さんです。

# 一富士

食の安全に徹底した新鮮で無添加・防腐剤ナシの安心食材、そのうえ可能な限りの要望を相談してもらえるとといった、お客様本位の親切なお店です。

企業向けの昼食弁当は、味も単価も大評判！店主の「食は人間の基本、健康に良く、安心できる食事を提供したい」という熱い想いから、食材と栄養のバランスを考えてくれる良心的なお店です。

もちろんメニューも豊富で味も申し分ありません。季節に合わせた食材で、見た目にも楽しく優しい味で残すことなく頂けます。一度食べてみると納得です！

実はドリーマーでもイベントの時など「一富士」さんのお弁当を利用させて頂くのですが、スタッフ一同「一富士のお弁当」の大ファンです(〇〇)



季節ごとの行事や親戚の集まり、スポーツ行事、行楽と何をしてもどこへ行っても「食」はつきもの。色々な場面でオードブルやお弁当、折詰など美味しいものがあればみんな笑顔になれます。花が咲く温かい春の到来です！「一富士」のお弁当を持って、さあ！出かけましょう！！



中川昌明

# かけはし

第10号



株式会社ドリーマー  
ドリーマー通信

0120  
66-3991